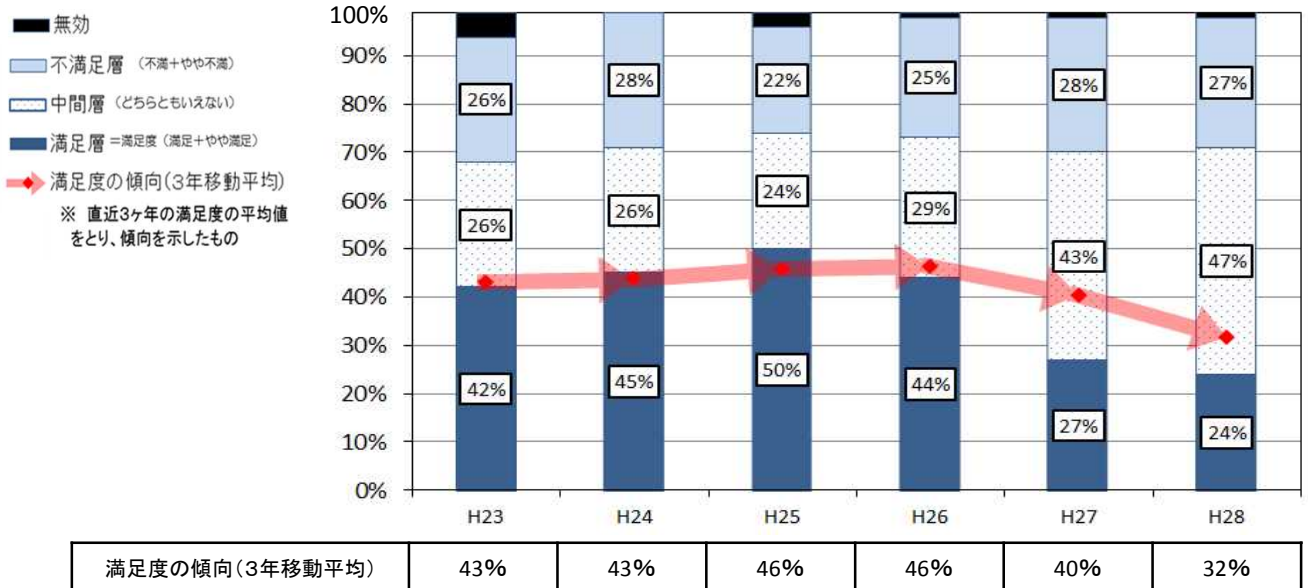


交通インフラに関する県内事業所満足度調査 平成28年度 調査結果の概要

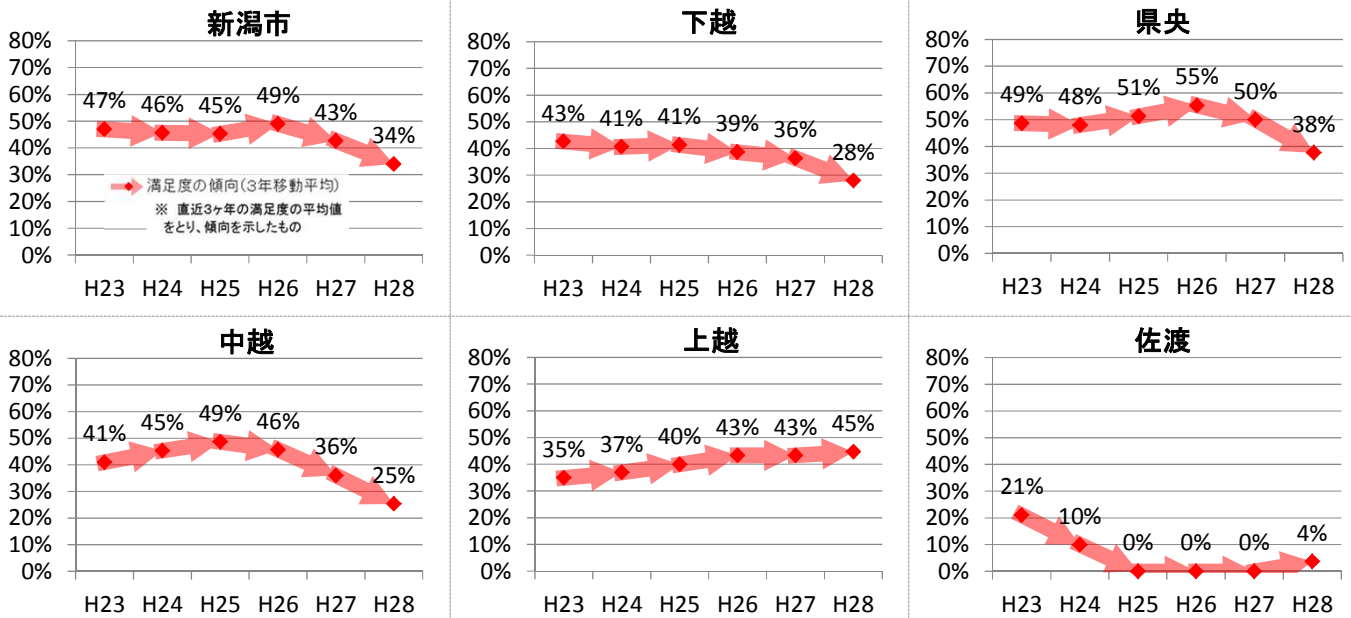
交通インフラ全般に関する満足度の推移



- 高速道路や新幹線等、交通インフラの整備状況や現行の利便性を評価する声が寄せられる一方、公共交通の運行本数や接続利便性等の改善を望む声も寄せられ、満足度が3ポイント減少しました。
- 今回の調査では、不満足層は概ね横ばいですが、中間層が増加し、満足層が減少しています。

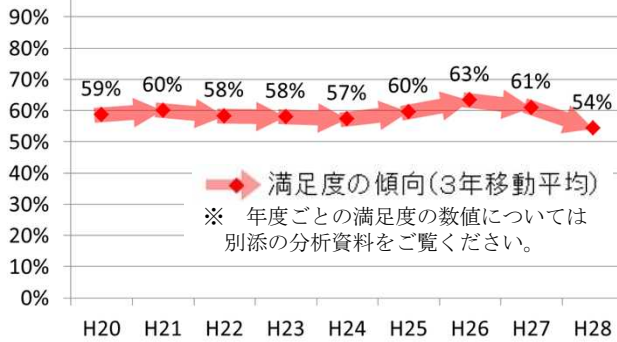
全
域

地
域
別

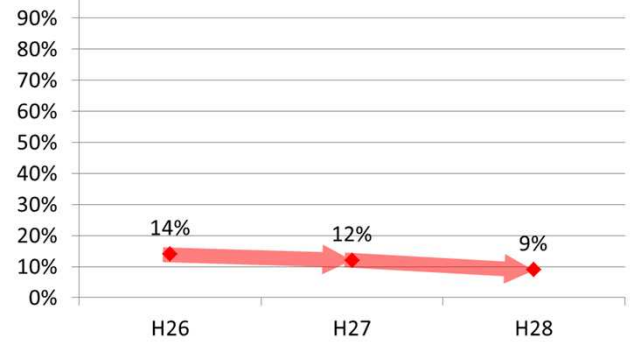


- ほとんどの地域において、公共交通の運行本数や接続利便性の改善を求める声が寄せられ、満足度が概ね横ばい又は減少の傾向を示しています。
- 上越においては、北陸新幹線の利便性を評価する声が寄せられ、比較的高い満足度を示しています。

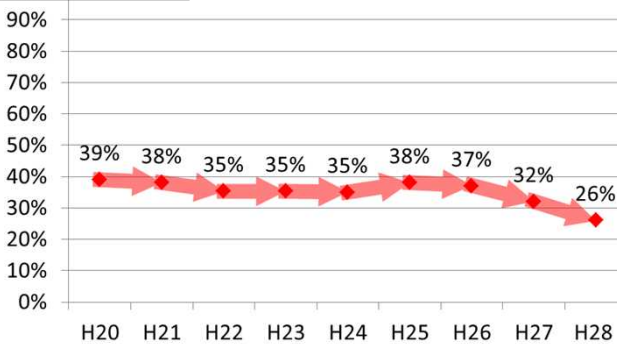
道路



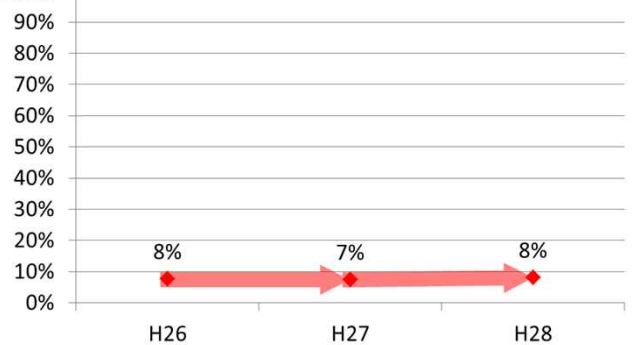
路線バス



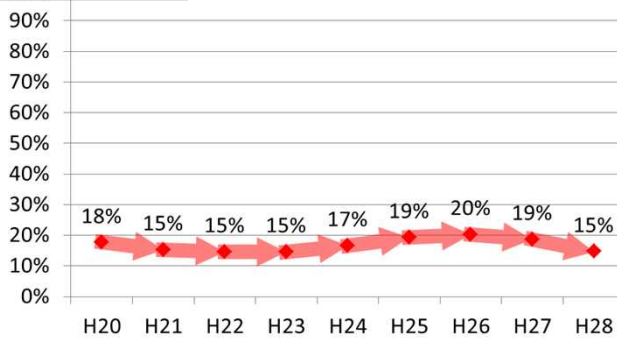
鉄道



離島航路



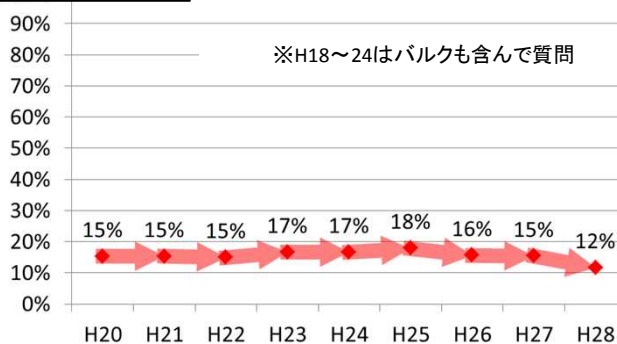
国内線



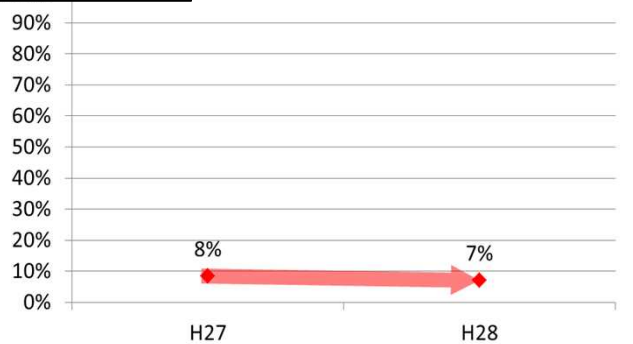
国際線



コンテナ



バルク



- ほとんどのモードにおいて、満足度は減少傾向を示しています。
- これまで比較的高い満足度を示してきた道路において、渋滞の解消等を求める声が寄せられ、満足度が減少傾向を示しました。